

## 常盤塾

日時：2015年3月14日（土）10：00～13：00

場所：MBFハウス

文責：常盤塾ライター 中條雄大

### 佐藤良平先生の御講話

※御講話本編に関しましては資料参照

### 御講話後の議論

今田

心理学のゲシュタルトとは同じですか？

先生

心理学はあんまり知らないけどそういうことかもしれない

常盤

曼荼羅の言葉の意味とは？

先生

全ての物、本当のものという意味

常盤

形而上の世界を形而下に落としていくという解釈

古城

こんごうかい、たいぞうかい

先生

子宮から生命が生まれるようにこの世界の一番のものが生まれる過程

こんごうかいはダイヤモンドですごく硬いもの

修行する上で大日如来までにどのようにしたら修行できるかを表している

メタファーである

形而上学的な形として見せること、伝えることが大きい

常盤塾議事録 2015年3月14日

けいか 真言密教の極意を伝えた人

対立の概念は、両者は2つで一つという意味

常盤

益の弁証法

対立的統一性が益の基本的思想

安梅

白丸と黒丸は反対でもいいか

先生

別に逆でもいい

先生

機能がフラクタル

いくつの機能を集めてもその機能にならないという意味

上位の性質がわかることでどっかにいってしまうということを言っている

常盤

法リズムっていうのはそういうことを言っている

先生

漢方の世界では物質的

要は機能的な意味を持っている

先生

いんやんの言葉とグラフがずれている

グラフがあっているけど字が違う

漢方の世界ではそういう意味がある

脳構造は物質的見方

脳機能は活動電位がどうやって伝わるかなどの機能を表している

常盤

あらゆることの大原則がいんとようで表せる

例外はない

男と女の分け方自体が問題、男にも女の要素がある逆もある

要素としては2つあるけど別々では機能しない

先生

勾玉の図から陽の中にもいんがある

陰の中にも陽がある

これは男性の中に女性があることと同じである

組織の中でも同じ。漢方でもこれは当てはまる

熱の薬の中で熱を上げる薬も入れる

今田

清水さんがおっしゃっていた

先生

勾玉の絵が躍動的になっている

陰も陽になる

陽も陰になる

要するに動いている

いつまでも同じではなく動的なもの

常盤

これが一番の曼荼羅である

シンプルな図で欧米と戦う上でこれに日本企業も目覚めるべき

古川

なぜ欧米では例外なのか

彼らは人間主義で絶対的の神がいる

日本ではなんでも神様でもある

古川

経済学では実験すると現象を見ると利他的

向こうの人はどこまでも突き詰めていく

常盤

欧米の人は利己的が協力につながっている

オープンイノベーションの考え方になっている

その中で自分も利益を生む

先生

密教と仏教の違い

密教は仏教の最終的形態

大乘仏教の行きつくところが密教である

他の神々の教えを取り込まないといろいろなひとを引き付けられなかったのが原因

ご自分でこの曼荼羅を見ると面白い

常盤

別の解釈

仏教は仏教

そこに大自然の理、掟があるのではないか

大自然と仏教を合わせてそれが密教であるという考え方

空海は大自然を感じ取ったのであるという解釈

先生

密教っていうのはとても自然科学的

フラクタル的な考え方とか

仏教と科学はつながっている

常盤

科学と仏教は分けること自体が不可能

2つあって一つである

機能と構造が科学と仏教に対応している

古川

ダライラマも同じようなことを言っていた

あんめ

セキセイインコの研究だと？

先生

インコの行動と脳の関係

ペアリングするとメスの鳴き声を真似するようになる

夫婦で共通の鳴き声をするようになる

夫婦が似てくる

そこで両者の絆が強くなってくる

男の行動、女の行動というのがある

構造と機能がどう違うかという研究をしている

なんでもメタファーであるからなんでも陰陽を使って説明することができる

古城

男女平等にすることがおかしい

常盤

男と女は違うものである

そういう文化が育つ背景がある

古川

欧米社会では女性進出が高い

日本では意外と少ない

それは原因があるか？

常盤

文化の違い

文化に価値観、生き方が含まれている

文化というのは人類が生きてきた歴史の積み重ねからできてくる

毎日の人々の生活の中から流れていくものと積もっていくというものの中で

蓄積されてどの生き方がいいのか経験的に探りだしてきた

凸ポンをおいしいからと東北に植えても絶対できない

男女の比率を欧米のようにしてもいい方向にはいかないのではないか

女性だけの問題ではなく2つが一つになっていいものが生まれてくる

陰陽の考えが入ってくるとモノの考え方がよくなってくる

行動と機能が重なり合って全体として一つのもの

松崎

細胞が分化する前にシステムで考えたときに細胞が組織化するような文化の前後にも陰陽のメタファーがあるのか？

システムは分けて考えてしまっている

同じようなメタファーが入れ子構造になってあったりするのか

例えば相関が無い世界がそうなのかと思ったのだが・・・

先生

概念図だから細かいところはわかんない

要は世界がハイブリット

成規分布が成り立つ

スケールフリーの比率はわからないが

それがこの世界をつくっている要素としてある

また体の中で神経系とかシステムが集まったシステムというのもいっぱいある

臓器一つをシステムと考えることができる

細胞の機能がただ集まったわけではなく

機能的な組み合わせがある

脳はその度合いがとても高い。つまり創発の度合いが高い

松崎

生命やるとそういうとこにいきついでるのでは？

先生

要素還元主義分析主義だから。

生物は分子レベルがイコールになってしまっている

どうやって統合していくのか統合の仕方がとても問題である

科学を覆す可能性もある

科学の範疇から外れたものも組み入れた考えもしないと科学の土壌だけでは語れないものも多くある

常盤

メタファーとは

時計を創造したとして昔なら機械時計

部品をばらばらにする

どれかに組み立ててもらってももとに戻らない

分解がもとに戻せないのが今

ばらさないとわからないのが法リズムの考え方

五行の考え方それを良く見てみるといんとよう男と女である

万物の組み合わせの中で世の中はできている

それが宇宙につながっている

先生

大蛇の絵とかまさにそういうことを言っている  
密教もそういうことである

常盤

夢は図を3Dプリンターで作ること  
1個はテニスボールのようになる  
今ならできそうである

先生

陰陽科学界で発表したものがあるが  
著作権の問題になるのではないか  
PDFファイルがもうネット上にある  
陰陽理論と複雑系と検索すると出てくる  
もしよければダウンロードして送る

今田

構成と昨日男と女で考えたら上場企業の機能は兵隊が動くっていうシステムができています。  
それが本当の社会にはある

片平

例えば男女だけど和と洋  
のようなそういう比較もあってもいいのでは

常盤

陰陽は何にも使える  
対局側からみる考え方がある

常盤

会社は構造と機能の連動をやっている  
無意識のうちに構造と機能をやっているのが会社の機能である

---

コミュニティというのはそういうもので構造と機能の相関で会社が成り立っている  
何を望んでどんな価値観を持っているかというのが大切

松崎

スケールフリーになることが多い  
分けて考えることがよくない

ビックヘッドの方しか見ていないことが多い  
今田さんの広告のアドテクノロジーも同じこと

広告も臓器化している

臼井

科学的なところから陰陽がある  
バリ島の地域コミュニティに行ってきた  
農村部いったら古い時代を大事にしている  
みんなが助け合っている  
水の分配も争わないようになっている  
そういうシステムが整っていて高い文化がある  
陰陽がどっちもあって日本では西洋的すぎて鬱がおおいとかあってそういう現状っていいのと悪いのと話し合いながらいんとようで均衡するのが行きすぎたら戻るのか爆発するのか  
まあいいように収束していくのだろうか？

先生

陰陽論では周期とリズムがあっていい時があって悪いときがあればいい時もある  
そういう言うものは重要視している  
自然の摂理が人間の生活と密接に関わっていた

常盤

間違いなくいい方に戻る  
振り子で行きすぎちゃうとダメ

先生

陰陽自体は変わるということが性質として言える  
今のままそのままではない  
それが物事の本質  
環境問題も当てはまる

大下

たいきよくの図  
これはいつぐらいからできたのか



常盤

紀元前500年くらいからできていた  
益の思想はしゅうの時代に出来上がった  
文王が体系化したもの  
どう解釈するのが紀元前500年  
そこから広まった

先生

韓国の国旗、大韓航空も同じ

常盤

8つというのは自然界の姿を8つに分けた  
それを重ね合わすと64できる  
それは動的な姿を現している

神様よりもっと偉大なものにお伺いを立てる

人が決めるものではない

皇帝、天使なんていうのは、すべて天が決めることを表している

その天使をきめるのに占いが行われた

この状態なら将来こういうようになりますねってことを予想した混沌とした世界から導き  
出したらモノが益である

変化というのは時間経過があつてこそそのもので変化というのは時間であるという考え方も  
ある

自然の現象を観察するとかいうのがそれを濃縮すると残ったものがいんとう

先生

いんとうに興味を持ったのは要素還元主義から

分子レベルで見えていて遺伝子レベルでミルと気を見て森を見ないというのが普通の世界

分子レベルの方が人間らしいというのではない

どこに人間らしさを求めるかというのが疑問でそこで上の方向に行くというのがインコ、  
人間の言語コミュニケーションの仕組みを解明しようと思ったきっかけ

その上ではセキセイインコが一番よい

マウス、らつとは音声コミュニケーションをしない

においの方が多い

においによってコンタクトしている

人間以外に音声でやり取りしているものは少ない  
そこでインコは面白い  
犬は音声学習ではない  
おすわりから  
音声学習の機能がないとコミュニケーションはできない  
まねることから語学を習得する

インコにも自閉症があるか  
多分ない

自閉症のモデルとしてインコが使えるかも

自閉症の記憶力が上がるのは謎である

天才的な脳の仕組みはどこの脳に関わっているかの説明につながっている  
脳の機能のバックグラウンドにつながる可能性もある

松崎

部屋の素晴らしさは部屋の後ろに押入れがあること  
そこからイノベーションが生まれる

先生

さばん症候群が男性に多いのも脳の機能の違いがある  
男女の脳を考えることがとても大事

片平

あんめ先生の分野でエンパワメントはあるか

あんめ

統合失調症も男性の方が多い  
ダジャレも男性の方が多い  
えんばわめんとみんなで一緒に何かすることが効果がある

先生

複雑系の科学で何らかのわからないことが起きたのは創発が起きたと考えられる

常盤

グループジェニアスは創発によるものである  
凡人の集団は天才にも勝るといふ知恵がわいてくる

企業もそれが出来るかというのが大事

先生

組織論と会社論に創発を応用していきたい  
大学がただの寄せ集めではない  
商社はコングロマリットだったがこれでは駄目ということで今のような仕組みに変えてきた  
気付いたら組織をなおしている

片平

曜日で決めてみんなでディスカッション  
かえてやってみるのが三越伊勢丹

常盤

現場でその感覚が実施されないといけない  
フィードバックをどうするかというのが重要  
組織とは何かということを考えていく必要がある  
ROIを高めるだけではない  
お金を数えるだけが企業ではない  
人の生き様が企業なのである  
これから企業が考えていくべきである。

グローバルで他企業と一緒にやるのがすべてではない

松崎

風に危と書いてリスクとかく